



むかい

学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

平等性と公正性

校長 川添 倫義

アジサイの蕾が膨らんできています。その蕾を見ながら色とりどりの花を早く眺めたいと思います。

さて、先日読書をしていて右のような絵を見ました。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、この塀越しに野球観戦をしている親子の絵は「平等性」と「公正性」を表現されたものとして、さまざまところで引用されています。「平等」と「公正」はどう違うのでしょうか。「不平等だな」「ずるいな」といった言葉に出会った時には、この絵を思い出してみると誤解せずに真実を確かめることができるのではないかと思います。「誰にとっても平等である」と「誰にとっても公正である」ことの違いを端的に表しています。

学校とは、もともと多様な個性のある人が、さまざまな考え方・意見を持ち、集まっているところです。昨年度の運動会・6年生のサッカー大会・今年度の6年生のバスケットボール大会のとき、「もやもやしたり言い争ったりした時もあったけど、その結果いい大会ができた。」とか「責任を押し付け合ったりした時もあったけど、目標に向けて結束することができた。」などの振り返りがあったと聞きました。おそらく頭の中で、この絵と同じような理解が広がり、深まった結果ではないかと考えます。こうした経験ができることこそ、仲間で取組む意味や意義の一つです。

そこには、どんなことが必要だったのでしょうか。一人ひとりがものの見方や考え方を変えてみる必要があります。既存のものに「ダメ出し」をすることから「マル出し」をすることに変えていくことが大切になります。子どもたちは、過去や現在を否定するだけでなく、どうしたらいいのかを考えて行動することができたのです。

未来は、過去や現在の結果です。日頃から今の生活をしっかりと考えていきたいものです。

※著作権の関係で画像をWeb上に載せることができません。リンクをご覧ください。

[Illustrating Equality VS Equity - Interaction Institute for Social Change : Interaction Institute for Social Change](https://www.interactioninstitute.org/illustrating-equality-vs-equity)